

## 第13回全国大会 in 愛知 開催要項

1. 大会テーマ：すべての子どもが自分らしく生きるために～「まなざし」の再考～

### 2. 開催趣旨

「子どもの貧困」や「児童虐待」は、社会を挙げて解決に向けてとりくまなくてはならない喫緊の問題である。そのような中で今学校は、子ども一人ひとりの人生を支える基礎的教育を保障する場として、同時に家庭や地域をつなぐプラットフォームとして大いに期待されている。学校がプラットフォームとして機能するためには、教員以外の職員の果たす役割を明確にし、福祉や心理の専門職もチーム学校のスタッフの一員として組織に位置づけることが重要であるとされ、スクールソーシャルワーカーは、それらを可能とする校内外の多様な「つながり」を作るための専門職として学校のスタッフに位置付いた。このように、学校現場は大きな転換期を迎えている。

しかし、そういうときこそ気をつけなくてはならないことがある。それは、私たちの「気づき」のアンテナが偏らないことである。子ども支援に条件はない。すべての子どもの権利、とくに教育の権利を保障することは、一人ひとりの子どもが自分の可能性を広げ、自分らしい人生を自分らしく生きることにつながっていく。学校やスクールソーシャルワーカーは、すべての子どもに意識を向け、学校がプラットフォームとして機能するよう協働しなくてはならない。

以上をふまえ、今大会は、少数であったり、意識を向けられにくい状況にあったりする子どもたちに焦点を当て、学校がどうあるべきか、またスクールソーシャルワーカーがどう支援するのか、考えてみたい。

3. 主催：日本学校ソーシャルワーク学会

4. 後援（申請中）：文部科学省、愛知県立大学、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、岐阜県教育委員会、三重県教育委員会、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、可児市教育委員会、愛知県社会福祉士会、岐阜県社会福祉士会、三重県社会福祉士会、静岡県社会福祉士会、奈良県社会福祉士会、京都社会福祉士会、愛知県精神保健福祉士協会、岐阜県精神保健福祉士協会、日本医療保育学会

5. 日時：2018（平成30）年7月7日（土）13：00～17：30

8日（日）9：30～16：00

6. 会場：愛知県立大学・長久手キャンパス

(〒480-1198 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1522 番 3)

7. 第 13 回大会 大会実行委員長 佐々木千里

(名古屋市立大学特任教授、静岡県等 SSW・スーパーバイザー)

8. スケジュール

1 日目：7 月 7 日 (土)

9：50～11：50 大会事前研修

・公開研修（一般参加も可能）と専門研修（会員限定）

13：00～16：50 大会シンポジウム

「すべての子どもが自分らしく生きるために～「まなざし」の再考～（仮）」

シンポジスト： 坪井 由美（北海道大学・愛知県立大学名誉教授）

金城やす子（名古屋学芸大学教授）

松本 一子（NPO 法人子どもの国理事）

コメンテーター： 山本 理恵（愛知県立大学教授）

野尻 紀恵（日本福祉大学准教授）

コーディネーター：佐々木千里（名古屋市立大学特任教授、

静岡県等 SSW・スーパーバイザー）

17：00～17：30 年次総会

2 日目：7 月 8 日 (日)

9：30～12：30 口頭発表（研究発表・実践発表）

13：30～16：00 課題別研究（第 1～第 4 分科会）

第 1 分科会 テーマ：学校という場をめぐる諸課題に私たちはどう向き合うのか

—学校ソーシャルワークの研究課題を探る—

第 2 分科会 テーマ：スクールソーシャルワークの支援デザインを考える

第 3 分科会 テーマ：地域共生社会における教育分野の

ソーシャルワーカーの役割と実践

第 4 分科会 テーマ：学校教育法改正に関連すること（仮題）

7. 問い合わせ先：佐々木千里（日本学校ソーシャルワーク学会理事、愛知大会実行委員長）

qianlisasaki@gmail.com

090-8481-5905